

USER MANUAL

Eric Whitacre Choir

目次

はじめに	1
ダウンロードとインストール	5
SPITFIRE APPの設定	7
専用プラグイン	8
概観	9
プリセット・セレクタ	11
メイン・コントロール	13
シグナル・ミキサー	14
テクニック	16
テクニック・セレクタ	18
エフェクト	21
トップ・メニュー	23
EVO GRID	28
エフェクト	31
ミキサー	32
付録	34
FAQとトラブルシューティング	34
テクニック、マイク、ミックス	40
デフォルトのCCマッピング	46

はじめに

本ソフトウェアをお買い上げいただきありがとうございます。待望の最新作は、音楽の真髄に迫る人体由来の楽器をその限界まで捉えた合唱団です。グラミー賞受賞者であるEric Whitacreが指揮を執り、彼のエリート・シンガー・ファミリーを紹介するこの声の百科事典は、あなたの作曲をより豊かなものにしてくれるでしょう。また、合唱は天使や悪魔を表象するたまに使われるニッチなもの、という古めかしいイメージを吹き飛ばしてくれるでしょう。これらのサウンドを指先で操るだけで、人間の声についてこれまでと違った考え方ができるようになるはずです。本ソフトウェアは、弊社のオーケストラ・カタログの音響的DNAを共有し、これらのライブラリと緊密に連携します。

製品仕様

- 88,550 サンプル
- 164.59 GB ディスク容量
- 170 GB インストール時に必要なディスク容量
- 170 テクニック
- 247 プリセット
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)
- ディープ・サンプル

⚠ 最新の対応状況についてはWeb上の製品ページをご確認ください。

聖なる宝石をとらえるために

「人間の声には何テラバイトもの感情情報が詰まっています。作曲家がこれらのサウンドを指先で使えるという発想が、私を興奮させます。」

弊社の創設者PaulとChristianがEricに合唱団のサンプリングを持ちかけたとき、彼は時間をかけてこのプロジェクトを検討し、最終的には、作曲家を声に対する先入観から解放し、どのように音楽で使うことができるかを考えるための完璧な手段であることに気づきました。本ソフトウェアは、200GBのオーディオを満たす特別なライブラリですが、特殊なものとして扱われるようには設計されていません。聖なる、天使のような、黙示録的な…といったコーラスの決まり文句を越えて、弊社の他のプレイヤー（製品）たちと一致団結可能な、多目的な楽器セットとしてお使いください。

「私は声を管弦楽曲として扱います。それが私の考え方です」と彼は語ります。「声を使おうというとき、声という色のパレットは皆が思うよりずっと大きい。繊細なささやき声から、喉の奥の硬質な音、倍音のきらめく雲までが手に入ります」。

ディテールにこだわるサンプリングに彼はたちまち馴染みました。それは彼の作曲手法を反映し、彼は音のすべての繊維に独自の音楽的生命と誠実さを持たせるように練り上げます。彼はこれを「ハイパー・ミュージカルリティ」と呼んでいます。数週間にわたる録音で、Ericはこのライブラリのあらゆる音楽の糸を彼の合唱団と共に指揮し、一般的なボーカル技術（母音や口の形の変化によって倍音成分が変わるボーカライゼーションなど）から、ショートやリズムミックなフレーズを含む珍しい奏法まで、様々なサウンドを生み出しました。

合唱団

本ソフトウェアは、私たちがこれまでに制作した最大規模のライブラリの一つです。10年以上のサンプリング経験を活かし、音楽クリエイターに、声を他のオーケストラセクションと同様に扱える合唱ライブラリを提供します。フルオーケストラ用のサンプル・セットに加え、各要素がEricによって精緻にデザインされた、見事なEvo Gridも収録されています。デザインとユーザー体験エージェンシーであるUsTwo（Monument Valley, DICE）と協力して開発された本ソフトウェアは、主に作曲家向けに設計されたカスタム・プラグイン（VST2、VST3、AU、AAX）です。使いやすく、直感的でインスピレーションを与える作曲ツールです。

ソプラノ6名、アルト5名、テノール5名、バス6名の計22名が参加しています。合唱団セクションには合計170の技法が収録されており、Evo Gridには111のエボリューションが詰め込まれています。

EVO Grid

合唱団とSpitfire独自のEvo Grid技術が融合することで、新しい楽器が誕生しました。Ericは「正直なところ、日常でもこんな風に作曲できたらと思います」とその感銘を語りました。このGridは、時間の経過とともに変化するサンプルをキーボード全体に配置し、原理こそシンプルですが、実際には非常にインスピレーションを与えるものです。シングル・ジェスチャーや和音を演奏すると、常に変化し続けるマイクロ・コンポジションが編み上げられます。自分だけのエボリューションを作り上げることも、ランダム・ボタンを通じてほぼ無限の可能性からユニークな楽器を自動生成することもできます。常にオリジナルで、常に音楽的です。

Eric Whitacre

Ericの音楽を聴くと、彼がネバダ州の砂漠に囲まれて育ったとは想像しがたいでしょう。その風景は、伝統的な合唱音楽のイメージとはかけ離れています。しかし、その広大な空間と大きな空は、彼の独特なサウンドを形作る手助けをしました。「この感覚は、私の美的感覚に入り込んでしまい、このサンプル・ライブラリにおいても影響を与えました。ライブラリの中には、砂漠の広大さが含まれています。アメリカ西海岸や砂漠の何が好きかと言うと、可能性に満ちていること。その感覚が音にも反映されています。」

高校卒業後、エレクトロニカを作曲し、KraftwerkやDepeche Modeを聴いていたEricは、ラスベガスで学び、ひょんなことから合唱団に参加しました。「それが私の人生を完全に変えました。それはまるで自分の真名を初めて聞いたようなものでした。これが、私の心の中にずっとあった音だと思った瞬間でした。それは唯一無二の瞬間で、私を豹変させました。」

Eric Whitacre Singersの指揮者として、彼は『Light and Gold』（2010年）のベストセラーを含む複数のチャート上位アルバムをリリースしました。人気の客演指揮者でもあるEricは、ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ミネソタ管弦楽団などと共に、世界中で合唱および管弦楽コンサートを指揮しました。さらに、ハリウッドの作曲家Hans Zimmerとの複数のコラボレーションの他、イギリスのポップ・アイコンであるLaura Mvula, Imogen Heap, Annie Lennoxとも仕事をしています。

シンガーズ

「ロンドンで、この素晴らしい歌手たちのグループに出会いました」とEricは語ります。「ロンドンには、世界で最も優れた合唱団で歌う70~80人の歌手たちがいます。長年にわたり、私はお気に入りの歌手だけでなく、人格まで選びました。美しい家族のようなものです。私はこの人々を愛しています。」

Eric Whitacre Singersは、今日の最高のアンサンブルの一つとして確固たる地位を確立しています。このプロフェッショナルな合唱団は、Monteverdi, BachからWhitacre, Lauridsen, Brittenまで、幅広い年齢層や興味を持つ観客を惹きつける演奏を行っています。彼らは総じて批評家から称賛され、デビューアルバム『Light & Gold』（Decca/Universal）ではグラミー賞の最優秀合唱パフォーマンス賞を受賞しました。

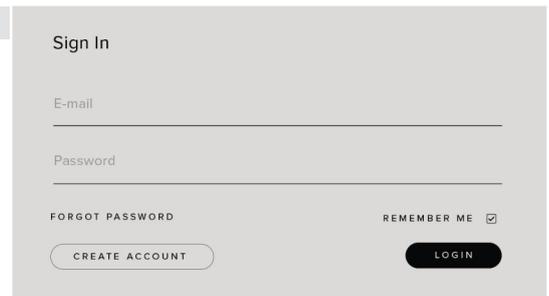
「彼らの音楽的才能と知性には畏敬の念を抱いていますし、彼らは素晴らしい人々です。作曲するとき、私は歌手たちの顔を思い浮かべています。たとえ彼らが最終的に歌うわけでもなく、私は彼らを念頭に置いて作曲しているのです」。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。



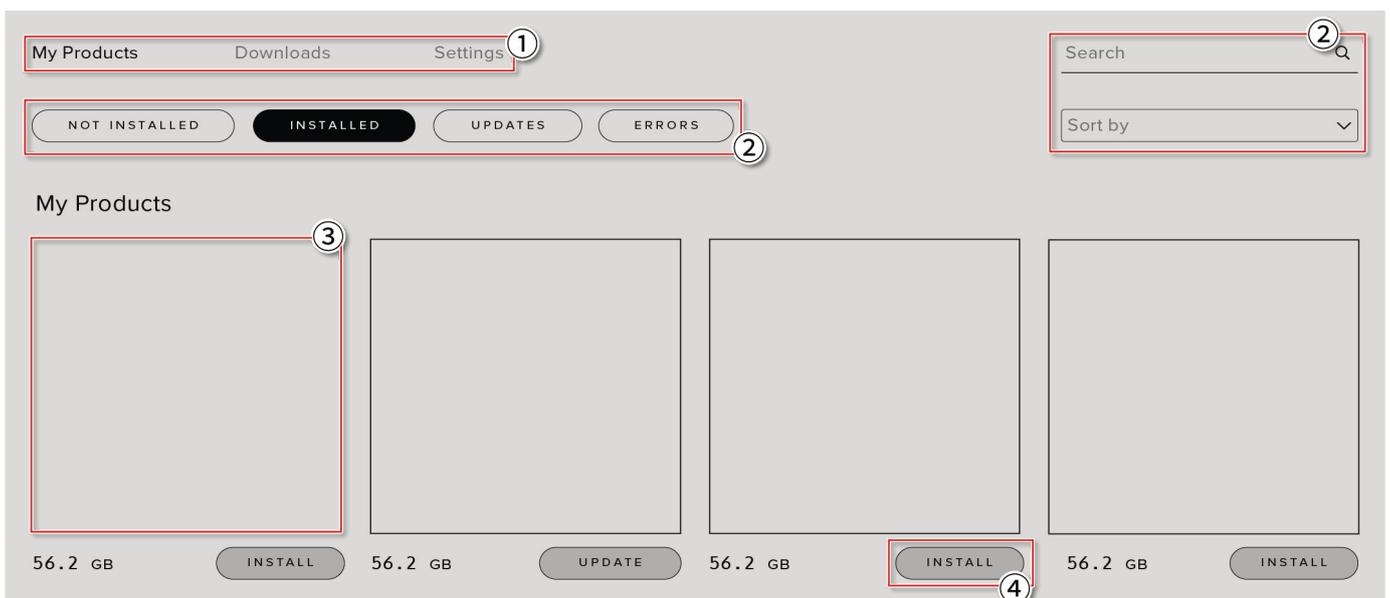
Sign In

E-mail

Password

[FORGOT PASSWORD](#) [REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#) [LOGIN](#)



My Products Downloads Settings ①

NOT INSTALLED INSTALLED UPDATES ERRORS ②

Search ②

Sort by

My Products

56.2 GB INSTALL 56.2 GB UPDATE 56.2 GB INSTALL ④ 56.2 GB INSTALL

③

① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

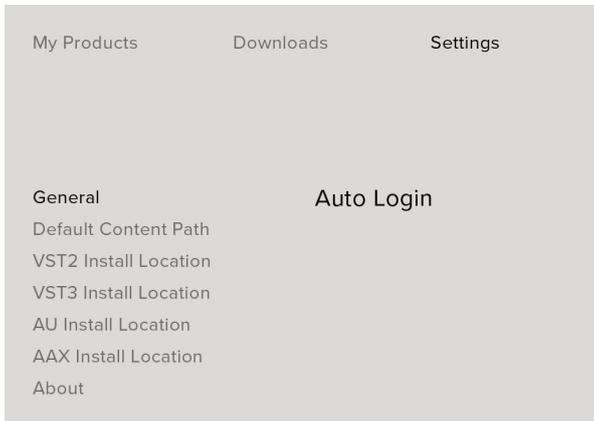
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

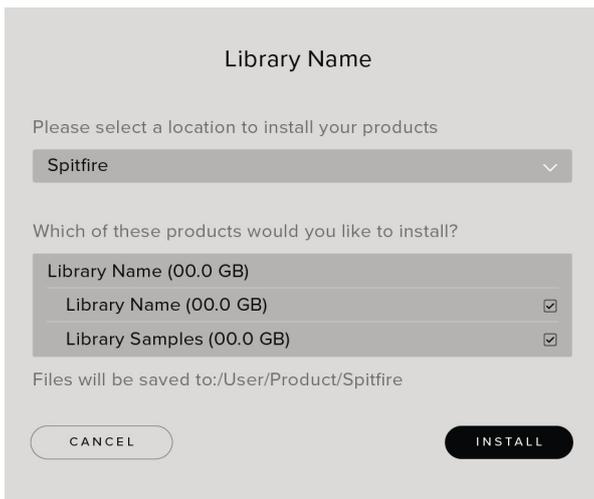
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



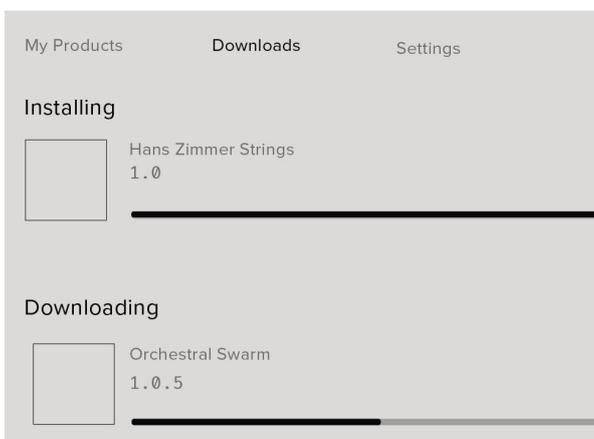
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

本製品は、VST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。
詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Eric Whitacre Choirを選択。

CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のEric Whitacre Choirを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Eric Whitacre Choirの選択肢を開けます。

概観

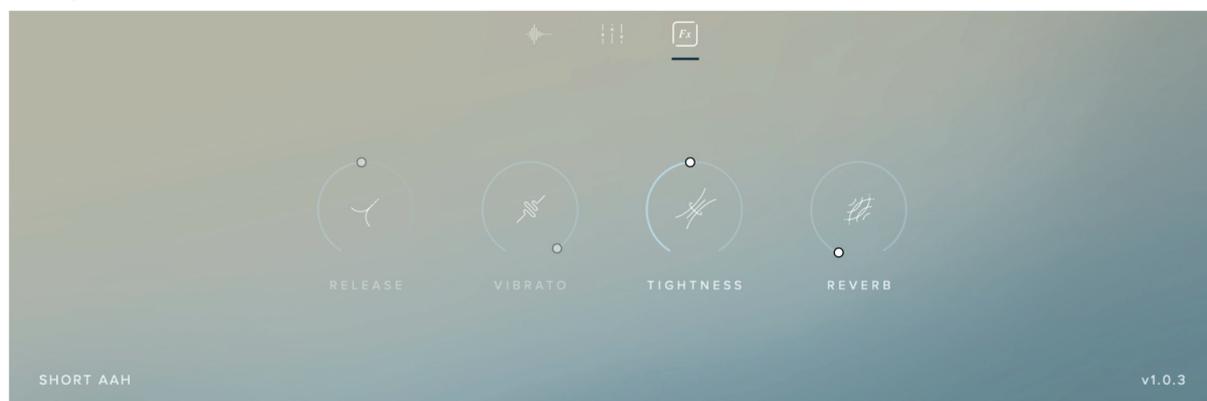


- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクト
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクト

シグナル・ミキサー



コントローラ



キーボード、INFO (情報)



プリセット・セレクト



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。プリセットの中には、"Breathy Mmm"のような単一のテクニックもあれば、"Tutti All In One"のようなテクニックのコレクションもあります。

② インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

③ フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

④ フィルタ

フィルタ項目に属したプリセットのみを表示。フィルタは減算方式なので、"Alto"と"Legato"を選択すると、Alto Legatoプリセットだけが表示されます。

⑤ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前(<)と次(>)は、単に次の利用可能なプリセットに移動します(フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

⑥ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑦ プリセット・リスト、プレビュー

プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

再生ボタンを押すとプリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生します。

⑧ 情報

[i]アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑨ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

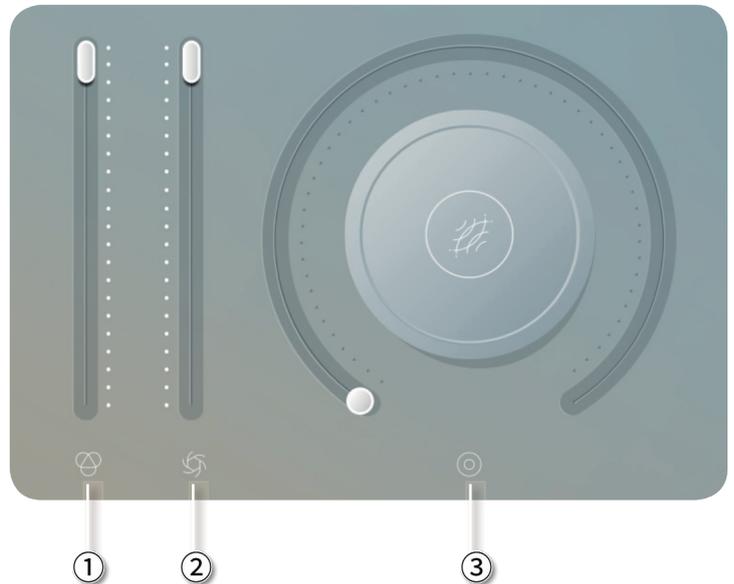
メイン・コントロール

① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的に。



③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると色が変わります。

④ 機能の割り当て

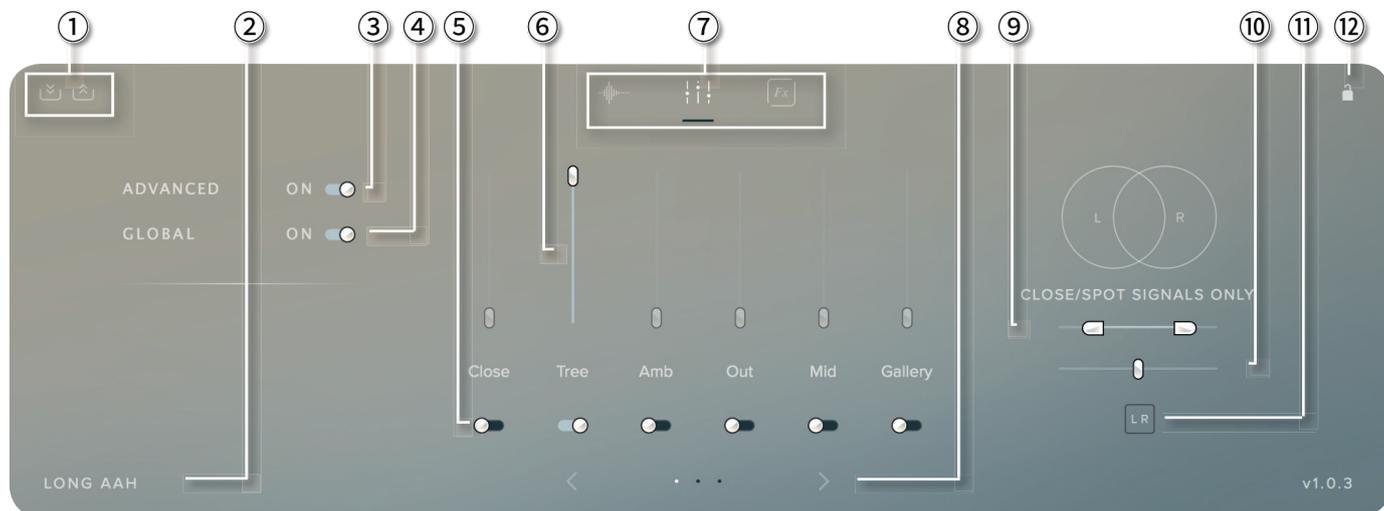
クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。



これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

- 💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上でSpitfire Eric Whitacre Choir > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② テクニック名

③ 詳細設定

デフォルトでロードされるビュー。シンプル・ビュー (右図) と切り替えられます。

各シグナルの音量をフェーダーで操り、楽器の音の近さを調整できます。



④ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

⑤ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります)。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、Spitfire Eric Whitacre Choirの左上のLEDを注視してください。

⑥ シグナル・フェーダー

ここで各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑦ ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

⑧ シグナル・ナビゲーション

右矢印>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑨ ステレオ幅

近接シグナルとスポット・シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑩ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルとスポット・シグナルの位置を調整します。

⑪ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑫ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

テクニック

LONG

基本的な標準歌唱スタイル。ビブラートの有無があります。ここでは、さまざまな発音 (Aah, Mmm, Ooh, Oh, Breathy Aah, Nanana) から選べます。

SHORT

2つ目の基本的な歌唱スタイル (Aah, Mmm, Ooh, Oh, Breathy Aah) 。

LEGATO

本ソフトウェアでいうレガートとは、ある音から次の音に移る楽器の音をとらえるテクニックのことです。このディテールをとらえることで、リアルさが増しますが、モノフォニック (単音) で演奏する必要があります。Aah, Mmm, Ooh, Oh。

EPISODIC

1つの母音と別の母音を短く組み合わせた音です。長いスプレッド・コードを演奏する際に、独特の質感を出すのに適しています。

MICROTONAL

ソフトな音色から始まり、時間の経過とともにわずかなピッチの変化を導入し、ダークで不協和なボーカル・サウンドを作り出します。緊張感を出すのに最適。

CLASHES

2つの異なる音程を録音した「クラッシュ」でセクションを分割します。短2度～完全5度。

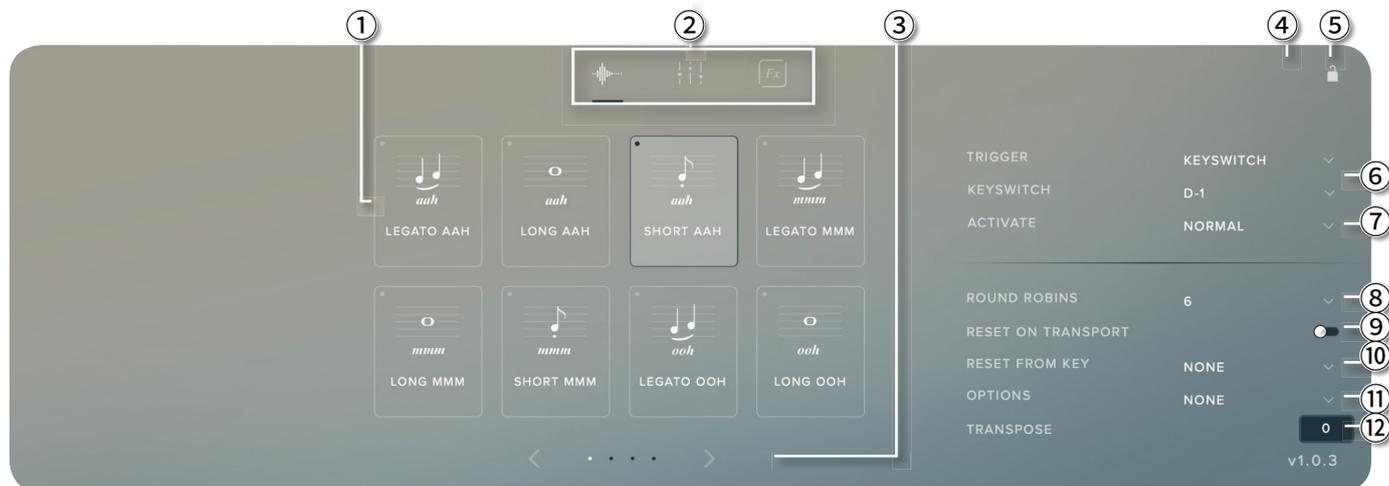
SWELLS

ソフトに始まり、徐々にダイナミクスを増していきます。ピークに達すると、柔らかいダイナミクスに戻り、それを繰り返します。その結果、穏やかな波のような効果が得られます。

FX

ユニークなエフェクト・セレクション。

テクニック・セレクト



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

③ テクニック・ナビゲーション

8つ以上のアーティキュレーションが使用可能な場合に表示されます。右矢印>をクリックして、追加のテクニックにアクセスできます。

④ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

⑤ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑥ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガー
できます。



KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます(上図)。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。

⑦ アクティブ

テクニックの切り替えを "NORMAL"と"LATCH"で切り替えます。

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

⑧ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑨ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑩ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑪ オプション

NEIGHBOUR ZONE RR	隣の音から音を借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。
LAYER X2	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
LAYER X2 (NO SKIP)	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。
LAYER +2	演奏されたキーの2つ上のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。
LAYER -2	演奏されたキーの2つ下のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。

⑫ トランスポーズ

1半音単位で上下にトランスポーズします。

エフェクト



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② テクニック名

③ リリース

リリース・トリガーの音量を変更。ロング・テクニックにのみ適用されます。

④ ビブラート

ビブラートのないサンプル(センザ)とフル・ビブラート(モルト)のサンプルをクロスフェードします。

⑤ タイトネス

ノートの始まりが楽器の「音」の始まりではないことがよくあります。このコントロールは、ノートをよりタイトにしますが、リアリズムを損なう恐れもあります。

リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。

右クリックでMIDI CCをアサインできます。

⑥ リバーブ

サウンドにリバーブを追加します。

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を超える場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべてのMIDIメッセージに反応します。

⑧ チューニング

ノブを動かして半音単位でチューニングします。Alt/option+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑨ パン

ステレオ・フィールドで出力シグナル全体を左右にパンします。Alt/option+クリックすると中央値に戻ります。

⑩ ボリューム

インストゥルメント全体の音量を調節します。

⑪ レベル

出力シグナルのレベルを視覚的に示します。

⑫ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。異なるレ

イヤーをトリガーする際に弾くその強さを指定します。ダイナミクスにマッピングされたベロシティでは、ショート・ノートのベロシティをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS
- COMPRESSED VELOCITY HIGH
- COMPRESSED VELOCITY LOW

② ベロシティ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

④ ショート・リリース

リリース・サンプルを調整。

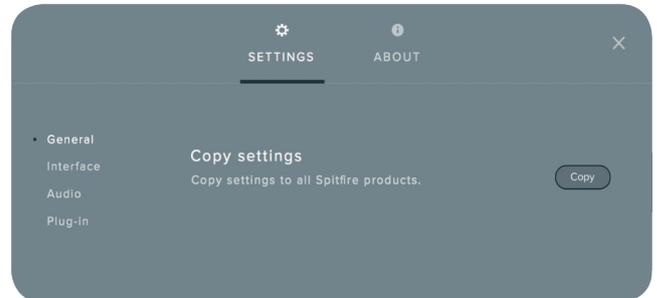
- TIMED: ノートの長さが300ms未満のときリリース・トリガーを再生し、元のサンプルを節約。
- UNTIMED: ノートの長さに関係なくリリース・トリガーを再生。
- NONE: ワンショット。



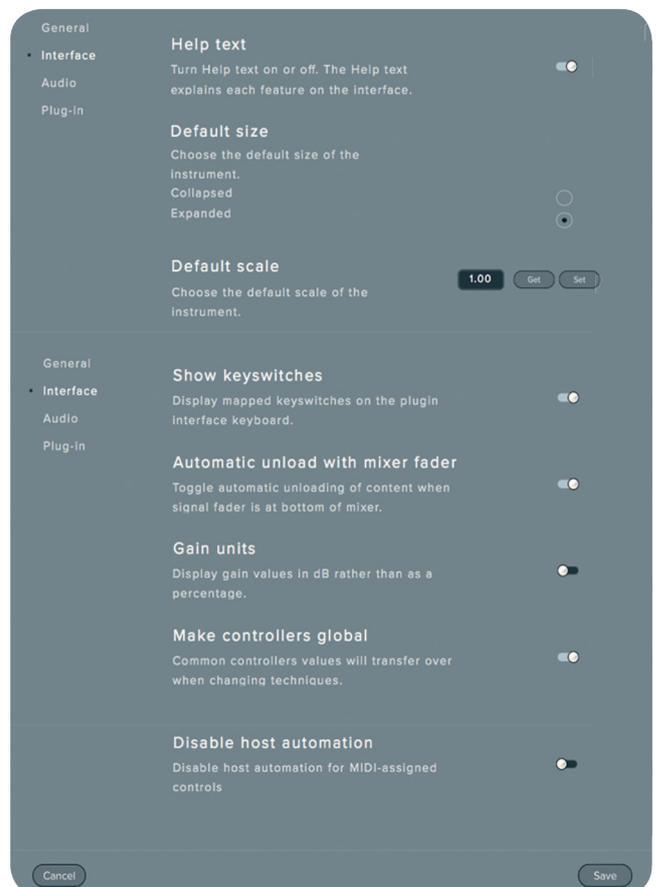
⑬ プラグイン設定

Copy settings (設定のコピー)

コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。

Default size (デフォルト・サイズ)

インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。

Default scale (デフォルト・スケール)

プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから[Set]と[Save]を押してください。

Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。

Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。

Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

Make controllers global (コントロールをグローバルに)

テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

DAWからのホスト・オートメーションの有効／無効を切り替えます。

Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

Preload Size (プリロード・サイズ)

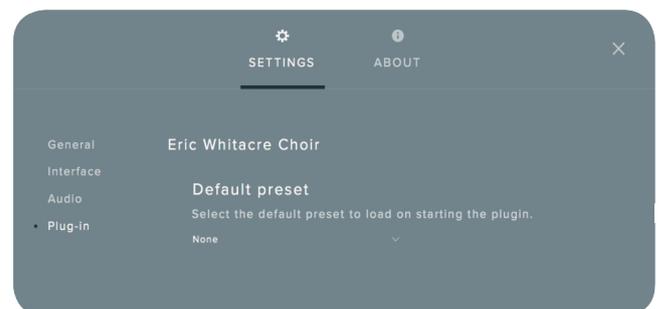
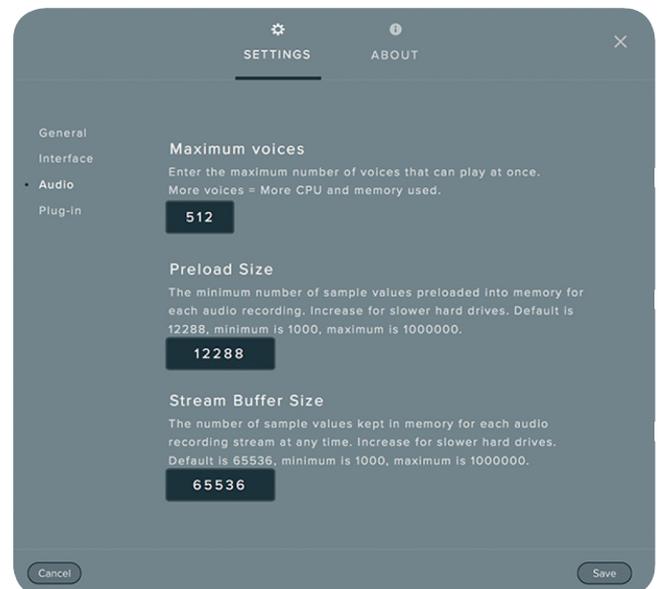
各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。

Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

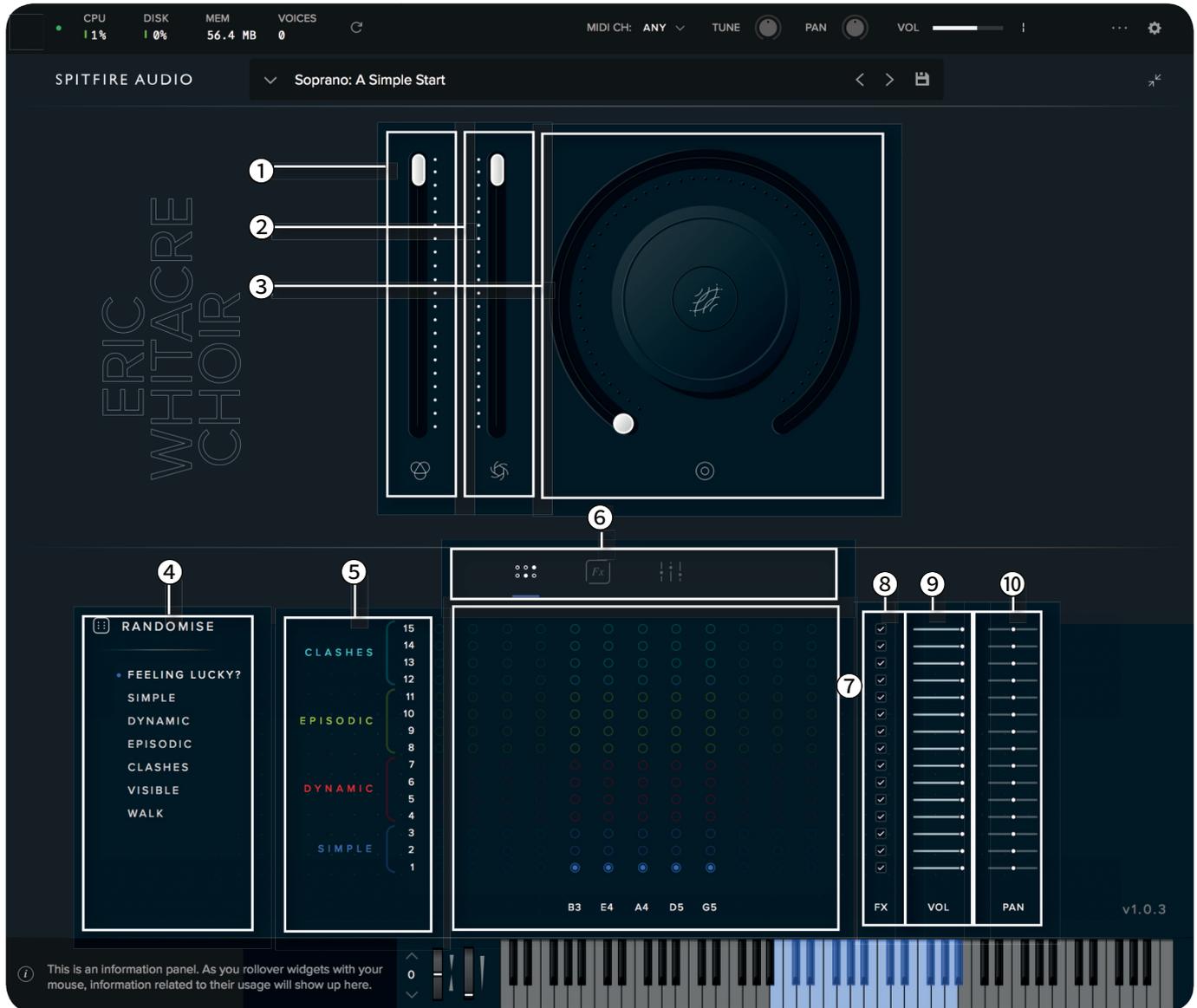
各オーディオ録音ストリーム (サンプル) がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



EVO GRID



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的に。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると色が変わります。

④ ランダム表示

この見出しの下のオプションをクリックすると、以下のようにテクニックが割り当てられます。

FEELING LUCKY?	すべてのevolutionをランダムに選択。
SIMPLE	「シンプル」なevolutionのみをランダムに選択。
DYNAMIC	「DYNAMIC」 カテゴリーからevolutionをランダムに選択。
EPISODIC	「EPISODIC」 カテゴリーからevolutionをランダムに選択。
CLASHES	「CLASHES」 カテゴリーからevolutionをランダムに選択。
VISIBLE	現在インターフェイスに表示されているevolutionのみをランダムに選択。

⑤ レンジ

EVOのカテゴリーによって○を色分けします。

⑥ ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

⑦ グリッド

グリッド上の○をクリックして、任意の○を選択／無効化。X軸はピッチ・センター、Y軸はevolutionです。

⑧ FX

チェックボックスで、各行のグローバルFXセンドのOn/Offを切り替えます。

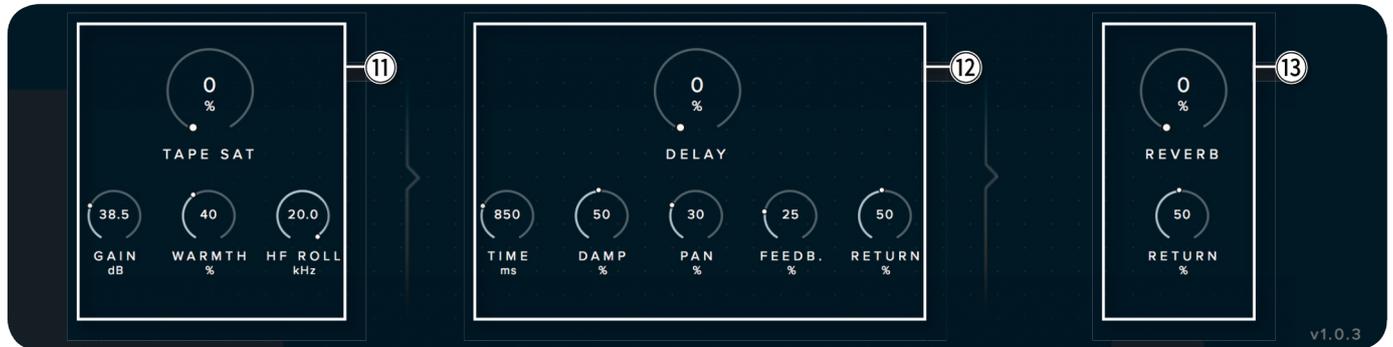
⑨ ボリューム

各行のグローバル・ボリューム・フェーダー。

⑩ パン

各行を左右にグローバルにパン。

エフェクト



⑪ テープ・サチュレーション

TAPE SAT	テープ・サチュレーションの量を調整。
GAIN	テープ・サチュレーション信号のゲイン量を調整。
WARMTH	テープ・サチュレータのウォーム度を調整。
HF ROLL	テープ・サチュレータの高域を減衰させるポイントを調整。

⑫ デイレイ

DELAY	デイレイ・エフェクトへのセンド量を調整。
TIME	デイレイタイムをミリ秒単位で設定。
DAMP	信号の減衰度を調整。値が大きい、リピートごとに高域が減衰。
PAN	デイレイ効果のステレオの広がりを調整。
FEEDBACK	デイレイラインに送り返されるレベルを調整。値が高いほど、リピート回数が増加。
RETURN	ミックスにおけるデイレイ・エフェクトのレベルを調整。

⑬ リバーブ

REVERB	リバーブへのセンド量を調整。IRセクター⑤でリバーブ・タイプを切り替え可能。
RETURN	ミックスにおけるリバーブ・エフェクトのレベルを調整。

💡 これらのコントロールは、コントロールをAlt/option+右クリックすることで、ノブにアサインできます。

ミキサー



⑭ ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上でSpitfire Eric Whitacre Choir > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

⑮ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

⑯ シグナル・ミキサー

各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

⑰ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります)。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、Spitfire Eric Whitacre Choirの左上のLEDを注視してください。

⑱ シグナル・ナビゲーション

左右矢印<>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑲ ADSRS

ATTACK	サウンドが 0db からフェードインするまでの時間 (ms) を調整。
DECAY	アタック後、サスティン・レベルに達するまでの時間。
SUSTAIN	ディケイ・タイム後、キーを押し続ける限り保たれる音量。
RELEASE	キー・オフ後に音が $-\infty$ dBまで到達する時間。

付録

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件は何ですか？

⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが。

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:\Users\<user>\name\AppData\Roaming\Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です。

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符 (!) が表示されています。

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム (英語) までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない。

Spitfire Audio独自のアプリ(スタンドアローン、プラグイン)は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証。

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から**Reset**を選択し、**Reset Entire Download**(フルダウンロードの場合)または**Latest Update**を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくことで十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！

Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します（ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります）。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の**Repair**と**Locate Library**機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: Mac OSX 10.9でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Appは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡（英語）ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト（ビデオ）、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 変更履歴（CHANGELOG）の所在

すべてのバグフィックスと改善点をリストしたHTMLの変更履歴は、製品のドキュメント・フォルダにあります。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません（使用許諾契約をご確認ください）。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?](またはこれに該当する日本語表記)をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

テクニック、マイク、ミックス

プリセット、テクニック

個別テクニック

プリセット、テクニック、アーティキュレーション、マイク、ミックス

SOPRANO

- Eric's Funtime FX1 (Long)
- Eric's Funtime FX2 (Short)
- Long Aah
- Long Dynamic Swell Aah
- Long Dynamic Swell Eh
- Long Dynamic Swell Mmm
- Long Dynamic Swell Ooh
- Long Episodic Evo Aah Dah
- Long Episodic Evo Aah Nah
- Long Episodic Evo Mmm Hyah
- Long Episodic Evo Ooh Nah
- Long Mmm
- Long Nanana
- Long Oh
- Long Ooh
- Long Pitch Clash Aah Maj2
- Long Pitch Clash Aah Min2
- Long Pitch Clash Static Aah Maj2
- Long Pitch Clash Static Aah Min2
- Long Soft Breathy Aah
- Short Aah

- Short Mmm
- Short Oh
- Short Ooh
- Short Soft Breathy Aah

ALTO

- Eric's Funtime FX1 (Long)
- Eric's Funtime FX2 (Short)
- Long Aah
- Long Dynamic Swell Aah
- Long Dynamic Swell Eh
- Long Dynamic Swell Mmm
- Long Dynamic Swell Ooh
- Long Episodic Evo Aah Dah
- Long Episodic Evo Aah Nah
- Long Episodic Evo Mmm Hyah
- Long Episodic Evo Ooh Nah
- Long Mmm
- Long Nanana
- Long Oh
- Long Ooh
- Long Pitch Clash Aah Maj2
- Long Pitch Clash Aah Min2
- Long Pitch Clash Static Aah Maj2
- Long Pitch Clash Static Aah Min2
- Long Soft Breathy Aah
- Short Aah

- Short Mmm
- Short Oh
- Short Ooh
- Short Soft Breathy Aah

TENOR

- Eric's Funtime FX1 (Long)
- Eric's Funtime FX2 (Short)
- Long Aah
- Long Dynamic Swell Aah
- Long Dynamic Swell Eh
- Long Dynamic Swell Mmm
- Long Dynamic Swell Ooh
- Long Episodic Evo Aah Dah
- Long Episodic Evo Aah Nah
- Long Episodic Evo Mmm Hyah
- Long Episodic Evo Ooh Nah
- Long Mmm
- Long Nanana
- Long Oh
- Long Ooh
- Long Pitch Clash Aah Maj2
- Long Pitch Clash Aah Min2
- Long Pitch Clash Static Aah Maj2
- Long Pitch Clash Static Aah Min2
- Long Soft Breathy Aah
- Short Aah
- Short Mmm
- Short Oh

- Short Ooh
- Short Soft Breathy Aah

BASSES

- Eric's Funtime FX1 (Long)
- Eric's Funtime FX2 (Short)
- Long Aah
- Long Dynamic Swell Aah
- Long Dynamic Swell Eh
- Long Dynamic Swell Mmm
- Long Dynamic Swell Ooh
- Long Episodic Evo Aah Dah
- Long Episodic Evo Aah Nah
- Long Episodic Evo Mmm Hyah
- Long Episodic Evo Ooh Nah
- Long Mmm
- Long Nanana
- Long Oh
- Long Ooh
- Long Pitch Clash Aah Maj2
- Long Pitch Clash Aah Min2
- Long Pitch Clash Static Aah Maj2
- Long Pitch Clash Static Aah Min2
- Long Soft Breathy Aah
- Short Aah
- Short Mmm
- Short Oh
- Short Ooh
- Short Soft Breathy Aah

TUTTI

- Eric's Funtime FX1 (Long)
- Eric's Funtime FX2 (Short)
- Long Dynamic Swell Aah
- Long Dynamic Swell Eh
- Long Dynamic Swell Mmm
- Long Dynamic Swell Ooh
- Long Episodic Evo Aah Dah
- Long Episodic Evo Aah Nah
- Long Episodic Evo Mmm Hyah
- Long Episodic Evo Nonvib To Vib Aah
- Long Episodic Evo Nonvib To Vib Mmm
- Long Episodic Evo Nonvib To Vib Ooh
- Long Episodic Evo Ooh Nah
- Long Evo Aah Eh Aah
- Long Evo Aah Full Out
- Long Evo Aah
- Long Evo Aleatoric Aah
- Long Evo Breathy Mmm
- Long Evo Breathy Oohs
- Long Evo Bubbling
- Long Evo Cloud Grace Maj2 Aah
- Long Evo Cloud Grace Min2 Aah
- Long Evo Cyclical
- Long Evo Eh
- Long Evo Erupting Hums
- Long Evo Fluctuating Oohs
- Long Evo Fp
- Long Evo Harmonic
- Long Evo Maj3 Static Aah
- Long Evo Microtonal Bending Aah
- Long Evo Microtonal Cluster Pitch Aah
- Long Evo Microtonal Oscillating Aah
- Long Evo Microtonal Shift
- Long Evo Min3 Static Aah
- Long Evo Mmm Aah Mmm
- Long Evo Mmm
- Long Evo Nz
- Long Evo Ooh Aah Ooh
- Long Evo Ooh
- Long Evo Pitched Air
- Long Evo Ricochet Aah Nng
- Long Evo Whistle Mmm Blend
- Long Pitch Clash Aah Maj2
- Long Pitch Clash Aah Maj3
- Long Pitch Clash Aah Min2
- Long Pitch Clash Aah Min3
- Long Pitch Clash Aah Perf 4
- Long Pitch Clash Aah Perf 5
- Long Pitch Clash Static Aah Maj2
- Long Pitch Clash Static Aah Min2
- Long Rhythmic Evo Dee
- Long Rhythmic Evo Lah
- Long Rhythmic Evo Nah
- Short Aah Full Out

EVOLUTION

SOPRANO

- Long Aah
- Long Mmm
- Long Ooh
- Dynamic Swell Aah
- Dynamic Swell Mmm
- Dynamic Swell Ooh
- Dynamic Swell Eeh
- Episodic Evo Aah Dah
- Episodic Evo Aah Nah
- Episodic Evo Mmm Hyah
- Episodic Evo Ooh Nah
- Long Aah (min2)
- Long Aah (maj2)
- Long Static Aah (min2)
- Long Static Aah (maj2)

ALTO

- Long Aah
- Long Mmm
- Long Ooh
- Dynamic Swell Aah
- Dynamic Swell Mmm
- Dynamic Swell Ooh
- Dynamic Swell Eeh
- Episodic Evo Aah Dah
- Episodic Evo Aah Nah

- Episodic Evo Mmm Hyah
- Episodic Evo Ooh Nah
- Long Aah (min2)
- Long Aah (maj2)
- Long Static Aah (min2)
- Long Static Aah (maj2)

TENOR

- Long Aah
- Long Mmm
- Long Ooh
- Dynamic Swell Aah
- Dynamic Swell Mmm
- Dynamic Swell Ooh
- Dynamic Swell Eeh
- Episodic Evo Aah Dah
- Episodic Evo Aah Nah
- Episodic Evo Mmm Hyah
- Episodic Evo Ooh Nah
- Long Aah (min2)
- Long Aah (maj2)
- Long Static Aah (min2)
- Long Static Aah (maj2)

BASS

- Long Aah
- Long Mmm
- Long Ooh
- Dynamic Swell Aah

- Dynamic Swell Mmm
- Dynamic Swell Ooh
- Dynamic Swell Eeh
- Episodic Evo Aah Dah
- Episodic Evo Aah Nah
- Episodic Evo Mmm Hyah
- Episodic Evo Ooh Nah
- Long Aah (min2)
- Long Aah (maj2)

TUTTI

- Long Aah
- Long Mmm
- Long Ooh
- Dynamic Swell Aah
- Dynamic Swell Mmm
- Dynamic Swell Ooh
- Dynamic Swell Eeh
- Episodic Evo Aah Dah
- Episodic Evo Aah Nah
- Episodic Evo Mmm Hyah
- Episodic Evo Ooh Nah
- Long Aah (min2)
- Long Aah (maj2)
- Long Static Aah (min2)
- Long Static Aah (maj2)
- Long Pitch Clash Aah (Min3)
- Long Pitch Clash Aah (Maj3)
- Long Evo Static Aah (Min3)

- Long Evo Static Aah (Maj3)
- Long Aah (perf4)
- Long Aah (perf5)
- Long Evo Cloud Grace Aah (Min2)
- Long Evo Cloud Grace Aah (Maj2)
- Long Evo Aah Eh Aah
- Long Evo Aah Full Out
- Long Evo Eh
- Long Evo Ooh Aah Ooh
- Long Evo Mmm Aah Mmm
- Long Evo Breathy Mmm
- Long Rhythmic Evo Dee
- Long Rhythmic Evo Lah
- Long Rhythmic Evo Nah
- Long Episodic Nonvib to Vib Aah
- Long Episodic Nonvib to Vib Ooh
- Long Episodic Nonvib to Vib Mmm
- Long Evo Microtonal Bending Aah
- Long Evo Microtonal Oscillating Aah
- Long Evo Microtonal Shift
- Long Evo Microtonal Cluster Aah
- Long Evo Breathy Ooh
- Long Evo Fluctuating Ooh
- Long Evo Fp
- Long Evo Erupting Hums
- Long Evo Ricochet Aah Nng
- Long Evo Aleatoric Aah
- Long Evo Bubbling
- Long Evo Harmonic

- Long Evo NZ
- Long Evo Cyclical
- Long Evo Whistle Mmm
- Long Evo Pitched Air

MICS & MIXES

MICS

- C(lose)
- T(ree)
- A(mbient)
- Outrigger
- Mid
- Gallery
- Soprano
- Alto
- Tenor
- Bass

STEREO MIX

- Big
- Medium
- Small

デフォルトのCCマッピング

ERIC WHITACRE CHOIR		ERIC WHITACRE EVO GRID	
CC#1	ダイナミクス	CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン	CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン	CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスペッション	CC#11	エクスペッション
CC#17	リリース		
CC#18	タイトネス		
CC#19	リバーブ	CC#19	リバーブ
CC#21	ビブラート	CC#21	ビブラート
CC#22	CLOSE	CC#22	CLOSE
CC#23	TREE	CC#23	TREE
CC#24	AMBIENTS	CC#24	AMBIENTS
CC#25	OUTRIGGERS	CC#25	OUTRIGGERS
CC#26	MID	CC#26	MID
CC#27	GALLERY	CC#27	GALLERY
CC#28	SOPRANO	CC#28	SOPRANO
CC#29	ALTO	CC#29	ALTO
CC#30	TENOR	CC#30	TENOR
CC#31	BASS	CC#31	BASS
CC#33	BIG	CC#33	BIG
CC#34	MEDIUM	CC#34	MEDIUM
CC#35	SMALL	CC#35	SMALL

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニュアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Eric Whitacre Choir 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc. 2024/AUG issue
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>